

8月のミッション

※2020年度の行事日程は一部変更があります。



中高 | ミッション祭

夏休みから準備に取り掛かり、ステージ発表や出展をするなど、生徒一人ひとりが主人公となって楽しむ文化祭。中高合同で実施し、全校生徒の団結力を高める機会に。

Mission Standard 2030

ミッションスタンダード

今年度より北陸学院全体で「Mission Standard2030」を掲げました。これは、聖書の教えを土台にOECD（経済協力開発機構）やSDGs（持続可能な開発目標）の試みも踏まえ、2030年に向かう時代の教育的アプローチを示したものです。幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学・短期大学部へと継続する教育を進めながら、時代が変わっても変わることのない「普遍的な真理」を土台に、時代の変化に柔軟に対応し、チャレンジする教育を追求していきます。

人格 「愛」「希望」「責任」「良心」「情熱」など22個の力。	知 「言語力」「創造力」「探究力」など9つの知性。
力 「柔軟性」「独創性」「対話力」「サポート力」など10個のスキル。	心と体 リズムある生活スタイルにより心と体を形成する習慣。



本記事で紹介した「ミッションスタンダード2030」を、北陸学院のWebサイトでも公開しています。ぜひ、ご覧ください。

ミッションスタンダード2030 [検索](#)

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/mission-standard/>



北陸学院中学・高等学校 中学校教頭

おかざき ゆういち
岡崎 裕一

Yuichi Okazaki

1985年生まれ、富山県出身。金沢大学教育学部情報教育専攻卒業、2008年から北陸学院高等学校で担任や理科主任などを務める。2016年に中学校に異動、教頭として中学校と高等学校の継続教育の指揮を執る。現在は中学校教頭職を中心に理科の授業も行いながら、海外研修や国際理解教育を担当する国際理解教育委員長、学院全体の経営企画委員などを務めている。

パブリシティー企画

Hokuriku Gakuin
Junior & Senior High School

北 陸 学 院
中 学 ・ 高 等 学 校

教員インタビュー vol.2

他 者 理 解

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院は、幼稚園から大学までを備える総合学園です。1885明治18年の創立以降、キリスト教に根ざした全人格的な教育に尽力してきました。時代の変化にも柔軟に対応しながら、教育方針「勉強プラスもうひとつ」の下、かけがえのない「ひとり」を見つめ、それぞれにふさわしい進路を見出す指導を実践しています。本号では岡崎中学校教頭に、中高での国際理解教育について、現在の取り組みなどを伺います。

休校期間中はオンラインで 学習指導や心のサポートを

学校は今、平常の風景を徐々に取り戻しつつあります。新型コロナウィルス問題で休校が続いたため、本校では授業ができなかった期間中は、オンラインを利用した学習支援や生徒の心のケアに尽力してきました。まず新学期早々に、中高両校の生徒に向けて「ネット礼拝」を配信。落ち着いて生活するように呼びかけました。

また中学校では、オンラインでの授業を通じて勉強のモチベーション維持を図るとともに、普段生徒と教員が取り交わしている交換日記「Mission Days」のオンライン版を作成して意思疎通を促し、毎朝9時には学級担任がオンラインでその日の授業内容や提出物を確認。保護者の皆様から「生活のリズムが崩れなかった」と喜んでいただきました。高校では、以前より導入していたシステムに全国的に利用が殺到したので、新たに本校独自の「Mission Classroom」を開設して対応し、動画配信での学習指導を進めました。初の試みで試行錯誤もありましたが、オンライン授業のメリットに気づけたのが有り難かったですね。生徒がどこに不安を感じているかが個々に把握できた上、周囲の目を気に

せず学べる環境なので、普段はあまり発言しない生徒も積極的に参加してくれました。その上、休校中の家庭学習の理解度を授業再開後に復習の形で確認したところ、生徒それぞれの理解力向上に効果的とわかりました。授業をより良いものにとしようと一部教科は続けて動画配信を行っています。

また、今回の出来事は人間のあり方を改めて問いかけたものでもありました。本校はキリスト教の教えに基づいて、他者を理解し、思いやることの大切さを日々生徒に伝えていきます。しかし、不安が広がった社会では医療従事者へのいわれなき差別やネット情報を鵜呑みにした誹謗中傷など、他者への理解不足から生じた事例が目立ちました。他者を理解することの大切さを再認識する機会になったと思っています。

世界への関心と理解を深め 他者を思いやる心を育てる

他者理解の一步は、関心を持つこと。思いやる心はそこから生まれます。その他者が友人や家族などの身近な人であっても、会ったことのない世界の誰かであっても、「理解」の本質に違いはありません。最近の香港の抗議活動や米国の人種差別問題などは遠い世界

で実際に行ってみたなら、考えが変わった。また行きたい」との参加生徒の声も聞こえており、中高の生徒全員が海外体験することの意義を再確認させられています。中学校は本年度入学生から行き先をシンガポール・マレーシアとしました。毎年台湾へ旅立つ高校生ともども、念入りな事前学習や現地での交流機会の充実を力を入れています。

それから、本年度は実施できなくなりましたが、これまで中高合同で行っていたカナダ短期海外研修を分離し、中学校は新たにアメリカ合衆国の誕生地、ペンシルバニア研修を決定。現地生徒との交流をはじめとする実践学習を多彩に計画しています。

ミッションスタンダードを礎に 世界の課題に対応できる人を

上に図がありますが、北陸学院は今春、2030年に向かう時代の指針となる「ミッションスタンダード2030」を策定しました。聖書という普遍的真理を土台としつつ、変容する時代とも対話しながら作りあげたもので、想定外のことが多発する今日、世界のさまざまな課題に対応できる人の育成を、幼稚園から大学までの継続教育の中で実現することを目指しています。

今後はこのスタンダードの志を学院内で共有して生徒を支えていきたいと考えています。国際理解教育もその一環で、他者や世界を理解してこそ、自分にできること、自分にしかない賜物に気づけるのです。生徒が賜物を見つけて自分の使命を果たす人へと成長できるよう、より良い学びの機会をこれからも提供していきたいと思っています。

月刊北國アクタス2020年8月号掲載記事

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学 / TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校 / TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



北陸学院中学校からのお知らせ

Hokuriku Gakuin Junior High School

TOPICS.1

2020年度入試から導入 スカラシップ奨学金

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※¹とします。

- ①本校の入試試験で4教科※²の合計点が225点以上の入学者
 ②本校の授業料が3年間免除※³



※1: 入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
 ※2: 4教科(国語100、数学100、理科50、社会50)の合計300点
 ※3: スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断になることもあります。

TOPICS.2



修学旅行がシンガポール・マレーシアに!

日頃の授業・行事から国際理解を深める取り組みが多いのがミッション。学校で知識として取り入れ、さらに、実際に自分の目で確かめられる機会として海外修学旅行を設けました。生徒全員が「世界の中にいる自分」を実体験できます。
 (2020年度入学生から実施)

TOPICS.3



強く、雄々しくあれ 軟式野球部の新設

本校の教育方針は“勉強プラスもうひとつ”。この“もうひとつ”の中心的なものに「部活動教育」があります。新設野球部は、「野球」が自分自身の“もうひとつ”だと胸を張って言える取り組みを目指します。学校の部活動でしか体験できない充実感を味わい、教室とグラウンドでの「学び」を大切に、勉強をしっかりとしながら中学校→高校→さらに大学以後も続けられるような野球を活動方針とします。

活動日程: 週5回
 活動場所: 北陸学院三小牛グラウンド、屋内練習場・校内施設、近隣グラウンド



ミッション中学校
 野球部の歴史を
 一緒に拓こう!

北陸学院高等学校からのお知らせ

Hokuriku Gakuin Senior High School

TOPICS.1

本校独自の制度 スカラシップ奨学金

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※¹とします。※²

- ①本校の入試試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
 ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者
 ①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

※1: 入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
 ※2: スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断になることもあります。



TOPICS.2

制度が変わります 高等学校等就学支援金

世帯年収590万円未満の生徒の授業料が無償となります※

2020年4月から制度が変わり、私立高校等に通う生徒の「高等学校等就学支援金」の上限額引き上げが行われます。

※ 世帯年収590万円以上910万円未満の生徒の授業料は、年間約12万円が軽減されます。



TOPICS.3

憧れの難関私立大学へ 豊富な特別推薦枠

本校は同志社大学に14名、関西学院大学に21名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2020年度入試結果においても、同志社大学に9名、関西学院大学に15名、明治学院大学に6名の合格者を輩出。他にも全国におよそ140大学・約700名の指定校推薦枠を有しています。

※ 募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

国際理解教育が
さらにパワーアップ!

明治のはじめに宣教師メリー・K・ヘッセルが北陸学院を創立して以来、国際理解教育に力を入れてきました。

2021年度からは、希望者向けの研修・留学制度をさらに充実させます。感性が鋭い10代に異文化を体験することは、世界を知ると同時に自分自身を見つめ直すことにもつながり、視野を広げ、将来の可能性を広げます。

※新型コロナウイルスの影響により、2020年度の研修・留学は中止します。2021年度についても状況により中止となる可能性があります。

POINT① ホームステイで実際の暮らしに触れる

POINT② アメリカやカナダの歴史を直に体感

POINT③ 現地校生徒との交流を通して、英語力を磨く

POINT④ 現地コーディネーターとの連携で安心



	短期海外研修制度	ターム留学制度	長期留学制度
中学校	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~3年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~2年生 ●期間 12月下旬~3月(約3か月)	
高等学校	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 1~2年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~2年生 ●期間 12月下旬~3月(約3か月)	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 2年生のみ ●期間 約1年間

中学生が取り組む! /



留学への準備にもなる、日々の学び



世界には多様な文化があり、考え方や生き方もさまざま。日頃から生徒たちに関心を持ってもらえるように、各取り組みを実施しています。

中学校

レッツ speak English!



さまざまな国籍の方を本校にお招きし、生徒たちが各国の文化や料理について、英語でインタビュー。また、「世界各国の英語教育」などのテーマで、外国の方々とディスカッションも行います。生の英語に触れる機会になり、話す・聞く力を磨きます。(各学期1回ずつの実施)

中学校

イッテM!



各国の専門家が、その国の文化や食べ物、宗教の違いなどを紹介する機会を設けています。自国と比較しながら、国際理解を深めます。(各学期1回ずつの実施)
 <講演会例>
 テーマ: フランス・トゥールーズ留学で得たもの〜講師: 本校のパイプオルガン演奏者

生徒インタビュー

なかだ かける
 中学3年 中田 翔さん

「イッテM!」は、異文化について考える良い機会です。最近では、新型コロナウイルス感染拡大やアメリカでの人権問題など、世界でさまざまなことが起きています。日本のように発展している国がある一方、貧困に苦しんでいる国もあることを忘れずに、民族や文化を越え、お互いを理解し尊重し合うことが大切だと思いました。

